

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	日が続つにつれ、認知の進行・身体機能の低下が進んだ時に対応しきれない時が見られている。	抑制等がなくなるようにしていく。	身体拘束の研修・勉強をマメに行ない、全職員で入居者の状態把握・情報交換し共有を図り、改善・身体拘束ゼロに努めていく。	6ヶ月
2	38	それなりにその人らしい暮らしは出来ていると思いますが、まだ、職員のペースで時間が過ぎていることも見られる。	職員が業務に追われず、少しでも多く入居者個々のペースに対応できるようにしていく。	職員同士での意見交換をこまめに行なっていく、入居者把握・理解に努め対応していく。	12ヶ月
3	3	去年よりは地域住民との触れ合う機会は増えてきましたが、まだまだ機会が少ない。	地域・地域住民との関わりを多くしていく。	地域の催し物等には積極的に参加していき、それ以外でも入居者と共に外に出る機会を増やし少しでも地域に知ってもらおう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。